

## 第25回島根県立大学短期大学部教育研究評議会議事要旨

[ 平成21年度 第1回(定例) ]

日 時 平成21年4月15日(水) 15:00~15:55  
場 所 松江キャンパス 大会議室  
出席者 本田学長 中島委員  
[松江C] 高橋委員 伊藤委員 岸本委員 河原委員  
[出雲C] 山下委員 田中委員 齋藤委員  
[事務局] <松江C> 日下事務室長 塩毛管理課長 玉木教務学生課長  
<出雲C> 板倉事務室長 恩田管理課長 小林教務学生課長  
欠席者 吉川委員

### [ 議 事 ]

定足数確認の後、島根県立大学教育研究評議会運営規程の定めるところにより、学長が議長となり議事を進行した。

#### 議題1 第24回教育研究評議会議事要旨の確認について

<資料1> 第24回島根県立大学短期大学部教育研究評議会議事要旨(案)

事務局から、資料1により説明があり、了承された。

本田学長より次回以降、議事要旨の確認についての取扱は、開催日の1週間前迄に資料配布を行い、意見があればあらかじめ提出することとし、協議会では説明することなく直ちに承認できるようにし、会議の効率化を図るよう発言があり、了承された。

#### 議題2 外部資金対策委員会における委員の増員について

<資料2> 短期大学部外部資金対策委員会委員(案)

事務局から、平成20年度は14名の委員で構成されていたが、予算が効率化されていく中、外部資金の必要性が増しており2名増員したい旨、資料2により説明があった。

山下委員より、松江キャンパスの委員の選出の在り方に関し質問があり、高橋委員から、GPの傾向として教育の質を高めることが重要な課題であり、FDセンターから委員を選出したとの応答があり、了承された。

本田学長から、本学は公立大学としては異例な程、外部資金率が高いが、これから更に高めていく必要があり、外部資金対策委員会は、その核となる委員会であり、しっかりとした議論を行っていくこと。出雲・松江で協力し合い効率的にサポートしていくことを意識的に進めてもらいたい、との発言があった。

高橋委員より、委員長は委員の中から学長が指名することとなっているが、これまでは各キャンパスで交互に務めており、平成21年度は松江キャンパスの番であるので高橋委員が務めることとしてよいか、との発言があり、了承された。

#### 議題3 短期大学部認証評価準備委員会の設置等について

<資料3> 短期大学部の認証評価について

高橋委員から、資料3により説明があり、平成23年度に認証機関による評価を導入するに当たり、平成22年度に自己点検・評価を予定しており、教育研究評議会の付設として「短期大学部認証評価準備委員会（仮称）」を設置したいとの発言があった。

本田学長から、あらかじめ認証機関を想定の上、進めていく方が良いと考えられること。認証評価は7年に1回大学が受ける必要があること。業務が集中化する恐れがあるが、法人評価の実施年は動かせないので認証評価をずらす考えもあること。認証評価実施に当たり、明文化ししっかりした体制で準備する必要があるのではないかと、との発言があった。

高橋委員から、この3点を踏まえた上で準備を進めたいとの回答があり、了承された。

## 【報告事項】

### 報告1 入学状況について

＜資料4＞ 入学者選抜試験の状況

伊藤委員から、松江キャンパス分について次のとおり説明があった。

健康栄養学科定員40名に対し入学者40名、保育学科定員50名に対し入学者51名、総合文化学科定員140名に対し入学者156名であり、出身地比率は県内出身者が非常に多いことの説明があった。

田中委員から、出雲キャンパス分について次のとおり説明があった。

看護学科定員80名に対し入学者93名、内、男子学生が15名と増加している。専攻科は地域看護学が定員30名に対し入学者30名、助産学は定員15名に対し入学者15名であるとの説明があった。

## 【その他】

### ○ 全国公立短期大学協会総会等への対応について

高橋委員から、全国公立短期大学協会総会が5月28日～29日に開催されるが、学長の代理として各キャンパスが相談の上、副学長が出席しており、今回も副学長出席としたとの説明があり、了承された。

事務局長出席対象会議についても、各室長が代理出席することとしたい旨の説明があり、了承された。